



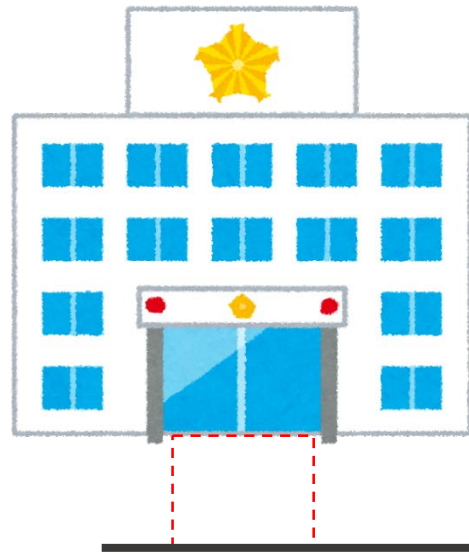
TAMURA TECO.inc
株式会社タムラテコ

検視室・遺体安置室・霊安室の脱臭／及び感染症対策

2017.12.2 第一版

2018.3.6 第二版

目的：検視室・遺体安置室の環境改善のために



警察署における検視室・遺体安置室の例

地下一階 駐車場横

地上別棟

など



警察署に遺体が安置される場合、主に突然死や不慮の事故などで、お亡くなりになった方が、死因や亡くなるまでの事件性などを捜査する為に、検視室で操作が行われ、引取りまでは警察署の霊安室に安置されます。

検視には、およそ半日～1日の時間を要し、保管は警察署に完備している冷蔵庫ですが、決して低い温度ではなく、一晩泊まったご遺体から死臭が漂ってしまいます。

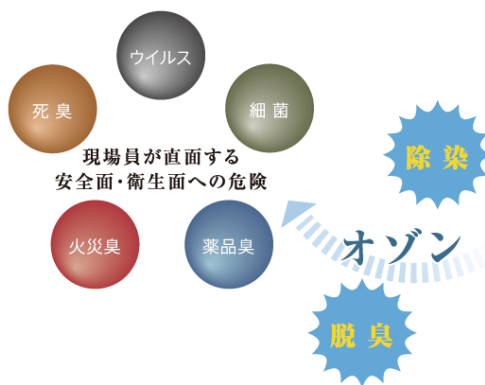
感染・テロ対策

死亡原因が感染症などによる場合は、ウイルスや菌などによる警察署員への二次感染

また、万一のテロ（**天然痘、化学兵器、炭疽菌、生物兵器、サリンなど**）による2次被害なども想定されます。

ご遺体からのウイルス・菌などの2次感染を防ぎ、検視時や遺体との対面時の臭気を脱臭する警察内での遺体安置環境を改善し、安全な状態での引き渡しまでを想定したマニュアルとします。

オゾン活用のメリット、備蓄調達が不要、家庭用電源と酸素のみで様々なシーンに活用



□ オゾン利用のメリット

- ◇ 菌・臭い成分の強力な酸化分解能力
[オゾンは強力な酸化分解能力により、現場に残る菌・ウイルス・臭いなどを全て除染・脱臭します。]
- ◇ 原材料の備蓄不要、薬品のリスクを全て解決しました
[空気中の酸素を原料とし、使用後は酸素に戻るため、薬品使用後の後処理のリスクを解決しています。]
- ◇ ランニングコストは家庭用電源のみ
[酸素と電気だけで作られるオゾンは、原材料の備蓄保存は不要コンセントに接続するだけで使用可能です。]
- ◇ 簡単操作、自動制御で現場捜査員の負担をかせません
[スイッチOnだけで操作OK、CT値自動制御オート動作。]

オゾンにより菌・ウイルス・臭いを強力な酸化作用で分解します。BT-1システムはオゾンの分解能力を濃度と時間の積算で自動計算し安定・簡単な運用を実現しました。

CT値とは…

殺菌・不活性効果を示す指標として国際的に認められているもので、ガス濃度と時間の積(濃度「ppm」×時間「min」)を表しておりCT値が高いほどその効果は増加し逆にCT値が低いほどその効果は低下します。



オゾンガスによる菌・科学物質の分解能力

■ オゾンガス除菌データ

	ウイルス・細菌	CT値(ppm×min)	死滅率(減少率)(%)
①	大腸菌	60	99.99
②	Staphylococcus pyogenes (化膿レンサ菌)	60	100
③	Staphylococcus aureus F.O. 12732 (化膿レンサ菌)	24	100
④	新型インフルエンザ(H1N1)	18	99.7
⑤	新型インフルエンザ(H5N1)	60	100
⑥	Norevirus(ノロウイルス)	72	100
⑦	Bacillus cereus F.O.13494(セレウス菌)	24	100
⑧	Vibrio Parahaemolyticus F.O.12711(腸炎ビブリオ)	24	100
⑨	Salmonella typhimurium F.O.14193(サルモネラ菌)	24	100
⑩	硫化水素	28	100

枯草菌の分解CT値はCT80,000以上 濃度80%以上

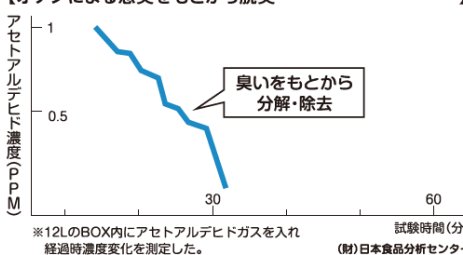
※各検定機関 ①滋賀県立大学微生物研究室 ②ビジョンバイオ株式会社 ③南山工業技術センター
④北里大学ウイルス科 ⑤株式会社日本食品分析センター ⑥和歌山県消防本部試験結果
⑦厚生労働省及び消防庁

■ 化学物質の目安

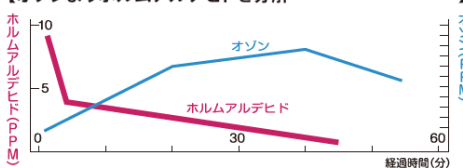
硫化水素ガス90%以上除染目安CT値	30
硫化水素ガス99%以上除染目安CT値	60
塩素ガス90%以上除染目安CT値	30
塩素ガス99%以上除染目安CT値	60
アンモニア系90%以上除染目安CT値	75
アンモニア系99%以上除染目安CT値	150

(注)除染室内環境温度は60%以上80%以下が望ましい。

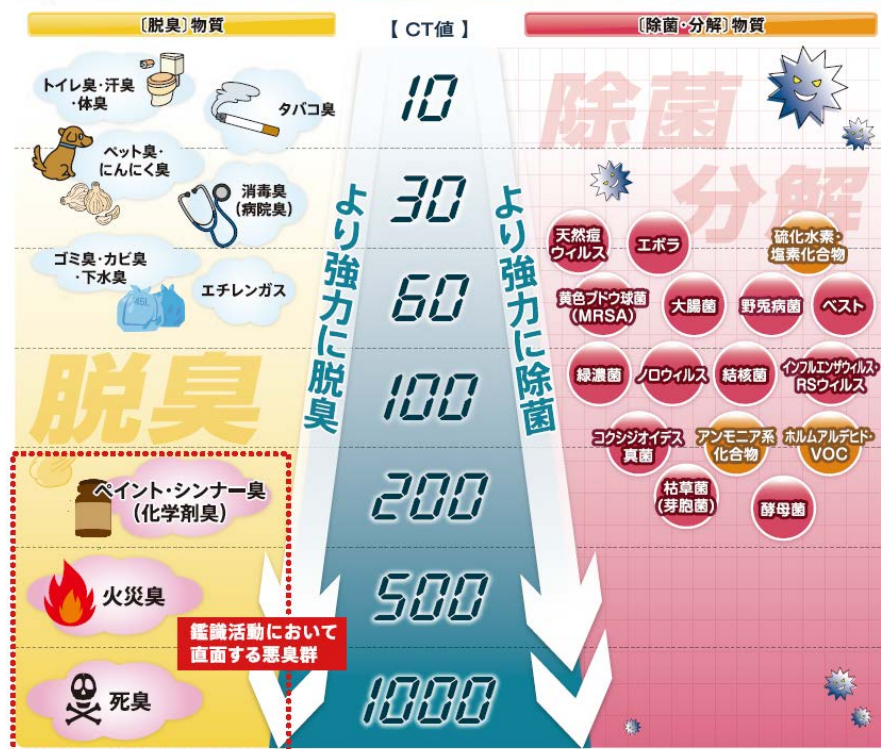
【オゾンによる悪臭をもとから脱臭】



【オゾンよりホルムアルデヒドを分解】

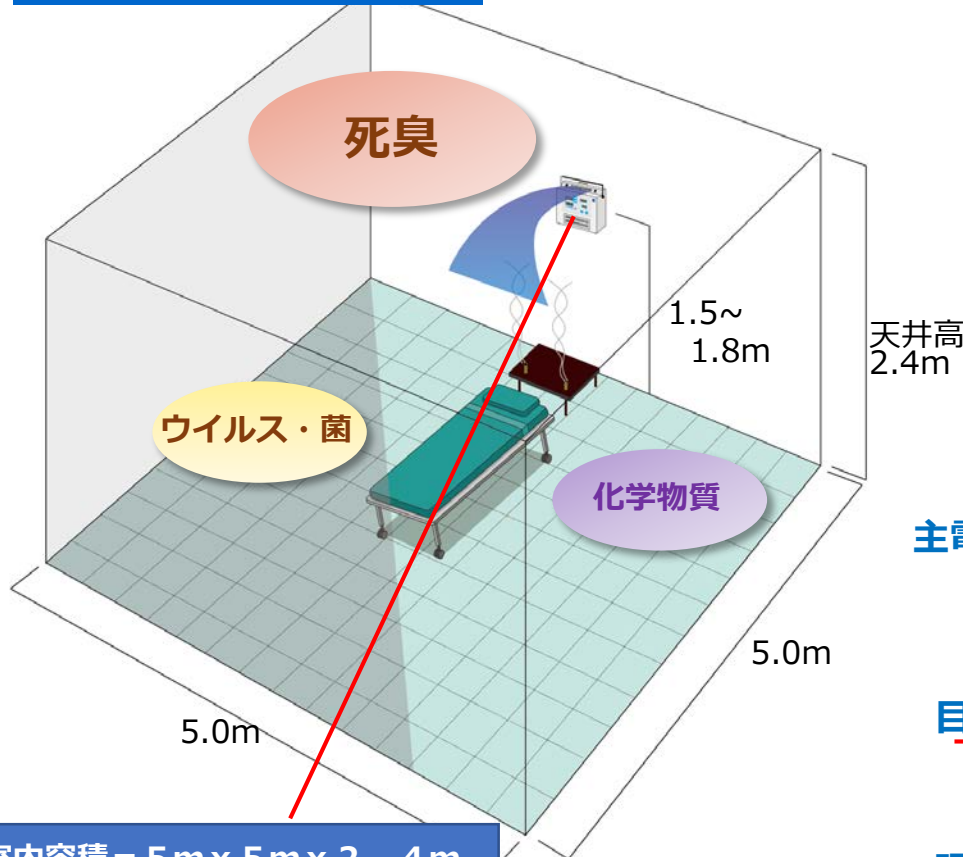


除菌・脱臭別CT値分布図



平時の霊安室（想定）

遺体安置室のイメージ



室内容積 = 5m x 5m x 2.4m
= 60m³と仮定

BT-088Pを室内壁面
高さ1.5m～1.8mに設置

オゾンはわずかに空気より重い為
上部に設置したほうが拡散する

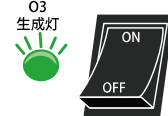


CT積算計付オゾンガス BT-088P

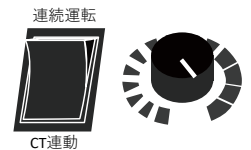
- 有人環境下で使用可能とする0.1ppmセーフティセンサー内蔵
- 軽量でコンパクトなハンディタイプCT計+オゾンガス発生体の一体型
- 簡単、迷わない全自動操作 オペレーションイージー
- 日常から災害まで様々な用途に対応
- 薬剤不使用、備蓄・調達・管理が不要
- 隊員、精密機器、各種資機材、室内全体、様々な用途所に使用可能
- 署内各部屋、車内、テント内、現場室内など利用シーンを選びません。
- CT値（数値）による可視化と再現性&持続性。作業完了（ゴール）がわかる。

操作方法是簡単、可視化できる除染効果

主電源・オゾン生成灯



運転モード切替スイッチ
ボリュームダイヤル



目標CT値設定

現在CT値

オゾン濃度測定

経過時間

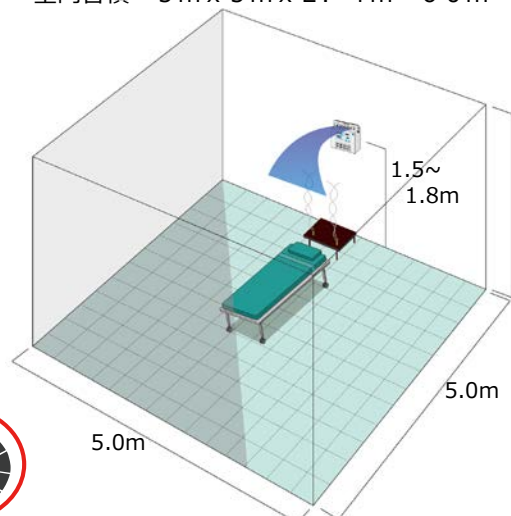
スタートボタン

目標設定CT値に達した場合は自動オゾン回収機能付

BT-088P 無人環境下でのオゾン除染 CT値1,000による空間丸洗いイメージ

室内の臭気が酷い場合、また、定期的なメンテナンスなどを行う場合の
無人の環境において、死臭・ウイルス・菌などを徹底除染する

室内容積 = $5\text{m} \times 5\text{m} \times 2.4\text{m} = 60\text{m}^3$



Step1

連続運転

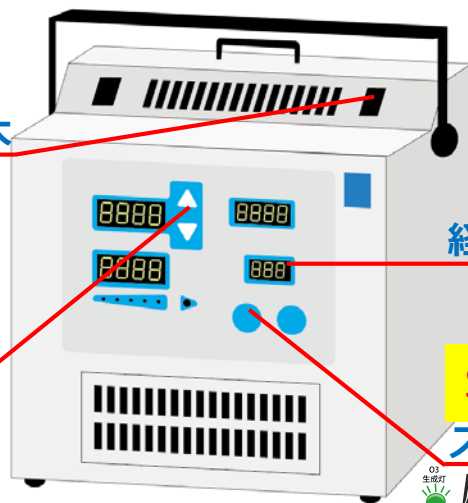


CT連動

運転モード
「CT連動」
ボリューム最大

Step2

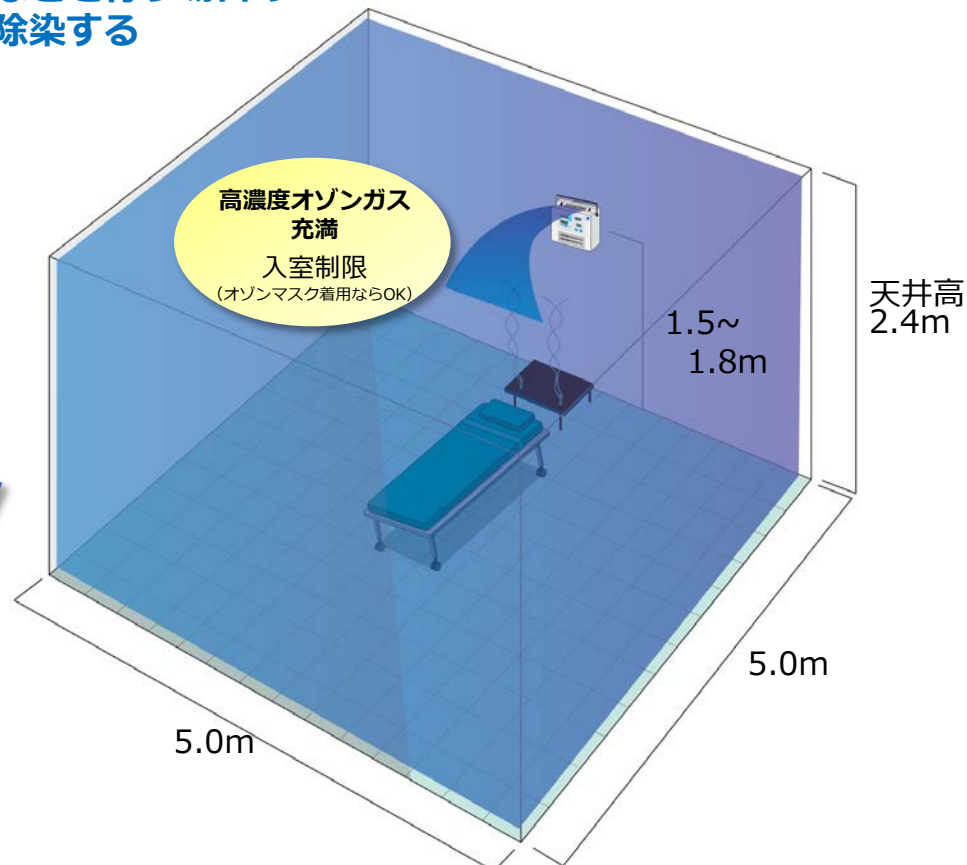
目標CT値
1,000



経過時間

Step3

スタートボタン
オゾン放出



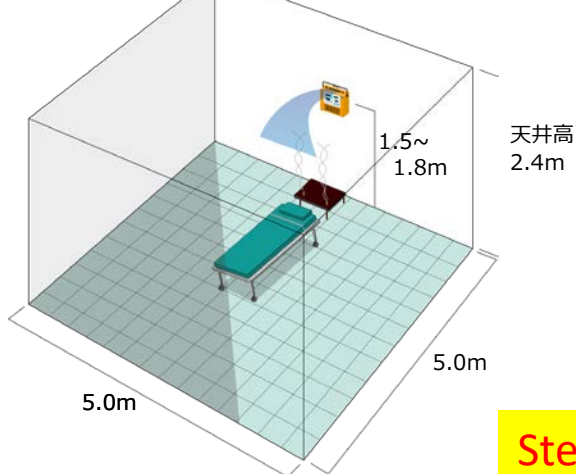
除染時間 約2時間 + 高濃度オゾンの分解時間2時間
計4時間で死臭の原因物質を分解可能

更に、ウイルス・菌類、アンモニアなども分解除染

BT-088P 有人環境下でのオゾン散布 0.1ppmセーフティモード 低濃度オゾンの常時除染

常時・面会時・搬出／搬送時など有人環境下において
死臭などの臭いを分解除染し、緩和し続ける

室内容積 = $5\text{m} \times 5\text{m} \times 2.4\text{m} = 60\text{m}^3$



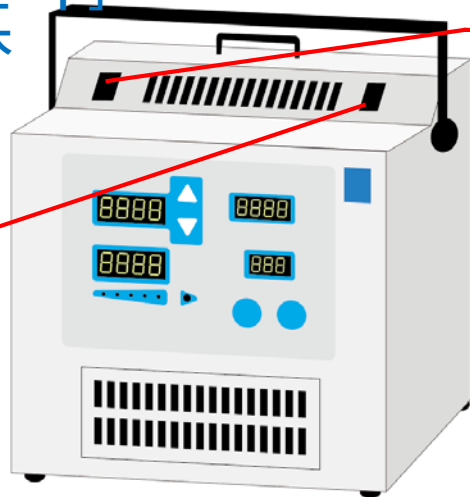
Step1

運転モード
「セーフティモード」
ボリューム最大

セーフティモード

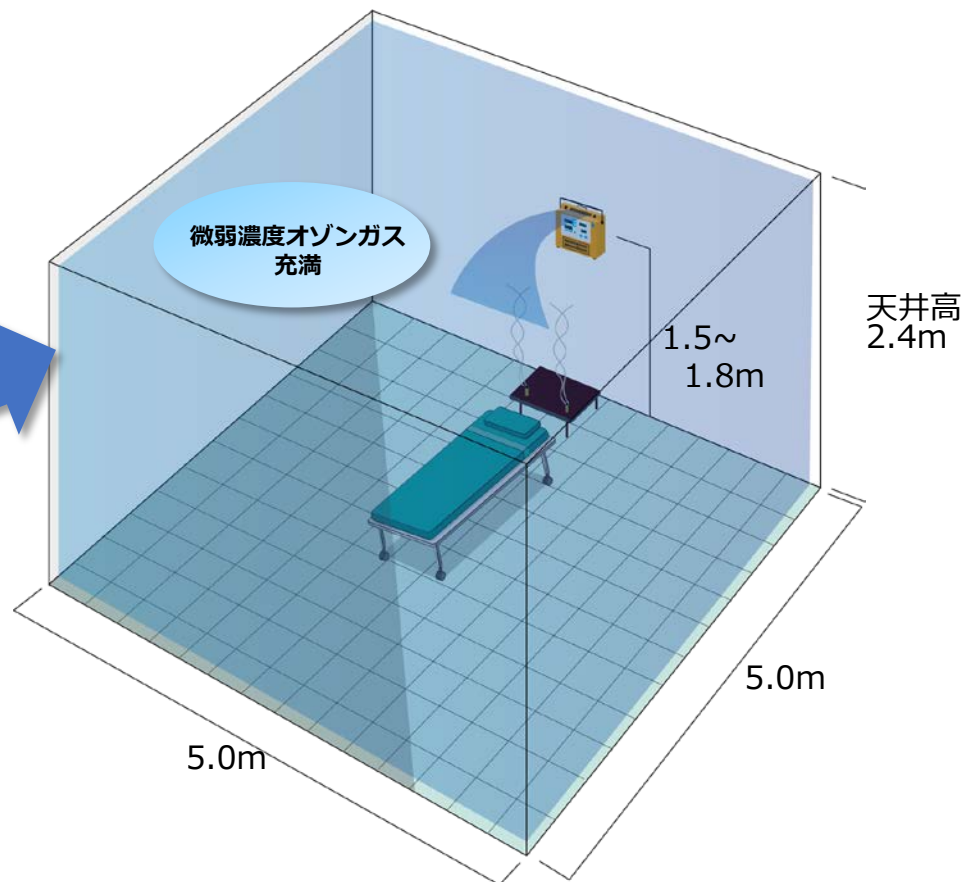


CT連動



Step2

電源ON
オゾン放出



常時0.1ppmの微弱オゾンガスによる死臭の分解

更に、ウイルス・菌類、アンモニアなども分解除染

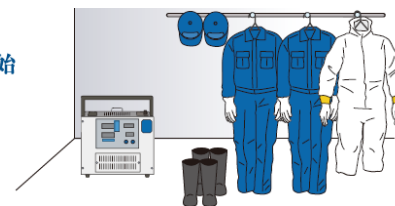
備品・装備品・支給品・私物の除染脱臭も可能

持ち運びも簡単、部屋全体を“除染室化”する事で、感染防止衣など支給品の再利用も可能

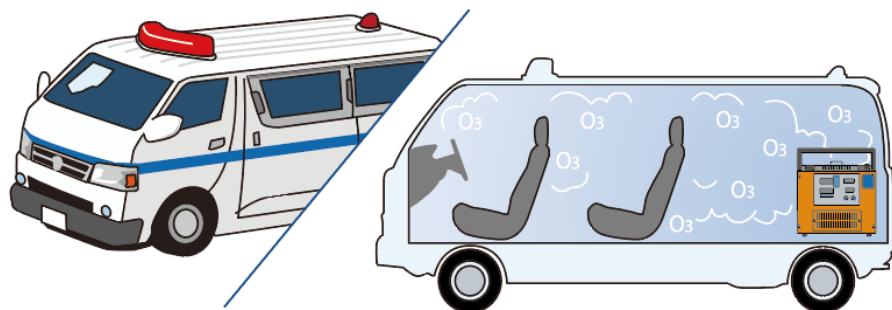


空き室を利用した気密空間に
BT-088を設置 オゾンガス脱臭開始

- ☐ 火災臭: CT500
- ☐ 死臭: CT1,000



医療機関との移送に使われる車両内部を全体除染 使用後に臭いの元や付着菌を徹底除染



車両内に残る臭いの原因物質や
内装に付着した菌やウイルスなどを
オゾンが隙間まで徹底的に除染します。

全国消防署・救急車約500台以上にBT-088、BT-03を導入し
救急隊員の感染防止に活用されています。

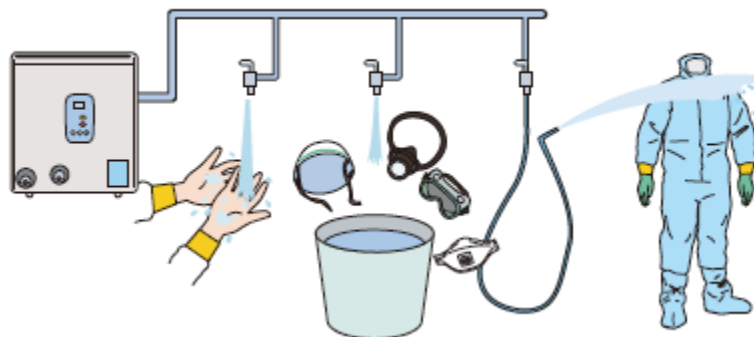
検視機器や、署員備品も除染

電子機器や精密機器などは専用のオゾン
ボックスに入れ、除染・脱臭と保管を行います。



参考資料：オゾン水による洗浄も有効です

室内洗浄にオゾン水活用も有効です



オゾン水濃度1.0ppm

40秒の洗浄でCT値0.7

1.0(ppm)×0.7(m)=CT値0.7

ウイルス・化学物質の
ほとんどが分解されます

オゾン水濃度計使用

防護服に着いた体液や
汚染物質の迅速な除染は
オゾン水にて行う



オゾン水による手洗いうがい
30秒の流水で除染

汚染源の直接除染

オゾン水は除染後の2次処理が不要であり
オゾン水による化学物質の除染を行った場合は
そのまま排水～下水への放流が可能

オゾン水は人体へ触れても無害であり安全である



滅菌室での配管使用例(配管4ヶ所)

BT-07 & BT-07PSA

オゾン水濃度 1.5~6mg/ℓ
オゾン水量 30ℓ/min



(小スペース～中スペース用)

■ユニバーサルオゾン水機
【持ち運びキャリータイプ可】

外形寸法(mm)	300(W)×200(D)×350(H)
質 量	12kg
消費電力	44W(AC100V)
オゾン水濃度	0.6~1.2mg/ℓ
オゾン水量	16.5ℓ/min
蛇口目安	3~4ヵ所まで
オプション	キャリー(移動)セット
消耗品	分解剤(1年毎) 乾燥剤(6ヶ月毎)



消防庁採用モデル

■UV式オゾン水濃度計標準装備
【オゾン水】

外形寸法(mm)	521(W)×221(D)×601(H)
質 量	25kg
消費電力	60W(AC100V)
オゾン水濃度	0.6~2.0mg/ℓ
オゾン水量	30ℓ/min
蛇口目安	5~6ヵ所まで
消耗品	分解剤(1年毎) 乾燥剤(6ヶ月毎) UVランプ(1年毎)



BT-03DW

総務省消防庁採用モデル

■オゾン水CT値監視記録装置

電 源	AC100V 50/60Hz
消費電力	10W
寸 法	300×300×160(突起物は含まず)
重 量	8kg
測定範囲	0.00~5.00mg/L

液晶タッチパネル式
○オゾン水での除染を自動計測
今までに無い確実な管理と
効果の繰り返し再現性、
標準化が可能です。

オゾン濃度 人体への影響

◎オゾン暴露濃度と人体への影響について



※人体に対してオゾン除染する場合には、上記の表を参考に対オゾンマスクの装着状態の確認を行う。

◎労働衛生上のオゾン濃度の許容範囲について

オゾンガス濃度について、米国のACGIH（米国政府関係産業衛生者会議）及び日本産業衛生学会許容濃度委員会は、0.1ppmを労働環境における許容濃度（8時間の平均値）としている。

（オゾンガスマスクの装備下では制限はない）

納入実績

北海道
北海道南空知消防組合消防本部
北海道土別地方消防事務組合消防本部
北海道月形刑務所
北海道大雪消防組合消防本部
北海道網走刑務所
北海道岩見沢地区消防事務組合消防本部
北海道檜山広域行政組合消防本部
北海道羊蹄山ろく消防組合消防本部
北海道岩内寿都地方消防組合消防本部
北海道江別市消防本部
北海道南宗谷消防組合消防本部
北海道歌志内市消防本部
北海道砂川地区広域消防組合消防本部
北海道恵庭市消防本部
北海道小樽市消防本部
青森県
青森県五所川原地区消防組合消防本部
青森県三沢市消防本部
岩手県
岩手県花巻市消防本部
岩手県一関市消防本部
岩手県二戸地区広域行政事務組合消防本部
岩手県盛岡地区広域消防組合消防本部
岩手県奥州金ヶ崎行政事務組合
久慈市消防本部
宮城県
宮城県仙南地区広域行政組合消防本部
宮城県仙台市消防局
秋田県
秋田県秋田市消防本部
秋田県由利本荘市消防本部
山形県
山形県上山市消防本部
茨城県
茨城県土浦市消防本部
茨城県かすみがうら市消防本部
茨城県茨城西南地方広域市町村圏事務組合消防本部
栃木県
栃木県塩谷広域行政組合消防本部
栃木県佐野市消防本部
栃木県警察本部
群馬県
群馬県伊勢崎市消防本部
群馬県館林地区消防組合消防本部
群馬県多野藤岡広域市町村圏振興整備組合消防本部
群馬県前橋市消防局
群馬県太田市消防本部
埼玉県
埼玉県埼玉西部消防組合
埼玉県羽生市消防本部
埼玉県熊谷市消防本部
埼玉県三郷市消防本部
埼玉県児玉郡市広域消防本部
埼玉県春日部市消防本部
埼玉県消防学校
千葉県
千葉県松戸市消防局
千葉県習志野市消防本部
千葉県市原市消防局
千葉県市川市消防局
千葉県浦安市消防本部
千葉県成田市消防本部

千葉県山武郡市広域行政組合消防本部
千葉県銚子市消防本部
東京都
東京消防庁第三消防方面本部
東京消防庁
総務省消防庁
神奈川県
神奈川県川崎市消防本部
神奈川県秦野市消防本部
神奈川県川崎市消防局
神奈川県藤沢市消防局
新潟県
新潟県加茂地域消防本部
新潟県魚沼市消防本部
新潟県三条市消防本部
新潟県南魚沼市消防本部
新潟県十日町地域消防本部
新潟県佐渡市消防本部
富山県
富山県立山町消防本部
富山県東部消防組合消防本部
富山県新川地域消防組合新川地域消防本部
富山県水見市消防本部
富山県高岡市消防本部
石川県
石川県金沢市消防局
石川県加賀市消防本部
石川県白山野々市広域消防組合消防本部
石川県奥能登広域圏事務組合消防本部
石川県能美市防災センター
石川県奥能登広域圏事務組合消防本部
福井県
福井県敦賀美方消防組合消防本部
福井県嶺北消防組合消防本部
福井県勝山市消防本部
福井県鯖江・丹生消防組合消防本部
福井県永平寺町消防本部
福井県若狹消防組合消防本部
長野県
長野県長野市消防局
長野県北アルプス広域消防本部
長野県岳南広域消防本部
長野県岳北消防本部
岐阜県
岐阜県揖斐郡消防組合消防本部
岐阜県大垣消防組合消防本部
岐阜県可茂消防事務組合消防本部
静岡県
静岡県富士宮市消防本部
静岡県磐田市消防本部
静岡県掛川市消防本部
静岡県御前崎市消防本部
愛知県
愛知県大府市消防本部
愛知県尾三消防本部
愛知県稲沢市消防本部
愛知県蟹江町消防本部
愛知県岡崎市消防本部
愛知県豊橋市消防本部
愛知県岩倉市消防本部
愛知県海部東部消防組合

三重県
三重県松坂地区広域消防組合消防本部
三重県津市消防本部
三重県三重紀北消防組合消防本部
滋賀県
滋賀県湖北地域消防本部
京都府
京都府八幡市消防本部
京都府京都市消防局
京都府相楽中部消防組合消防本部
大阪府
大阪府柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部
大阪府八尾市消防本部
大阪府志岡町消防本部
大阪府松原市消防本部
大阪府泉州南消防組合泉州南広域消防本部
大阪府大東四条畷消防組合消防本部
大阪府島本町消防本部
大阪府東大阪市消防局
大阪府和泉市消防本部
大阪府茨木市消防本部
大阪府岸和田市消防本部
大阪府箕面市消防本部
大阪府富田林市消防本部
大阪府吹田市消防本部
大阪府大阪市消防局
大阪府枚方寝屋川消防組合消防本部
大阪府摂津市消防本部
大阪府守口門真市消防組合消防本部
大阪府豊中市消防局
兵庫県
兵庫県明石市消防本部
兵庫県宝塚市消防本部
兵庫県加古川市消防本部
兵庫県三田市消防本部
兵庫県小野市消防本部
兵庫県神戸市消防局
兵庫県芦屋市消防本部
兵庫県淡路広域消防事務組合消防本部
兵庫県高砂市消防本部
兵庫県姫路市消防局
兵庫県豊岡市消防本部
兵庫県三木市消防本部
兵庫県宝塚市消防本部
兵庫県西はりま消防本部
兵庫県西宮市消防局
兵庫県川西市消防本部
兵庫県伊丹市消防局
兵庫県西脇市コミュニティ消防センター
兵庫県北はりま消防本部
奈良県
奈良県広域消防組合消防本部
奈良県奈良市消防局
和歌山県
和歌山県和歌山市消防局
和歌山県白浜町消防本部
和歌山県伊都消防組合消防本部
和歌山県有田川消防本部
和歌山県湯浅広川消防組合消防本部
和歌山県有田市消防本部
和歌山県海南市消防本部
和歌山県橋本市消防本部
和歌山県那賀消防組合消防本部
和歌山県庁

鳥取県
鳥根県鳥根県出雲市消防本部
鳥根県江津邑智消防組合消防本部
鳥根県大田市消防本部
鳥根県隠岐広域連合消防本部
鳥根県浜田市消防本部
鳥根県安来市消防本部
広島県
広島県大竹市消防本部
山口県
山口県柳井地区広域消防組合消防本部
山口県下松市消防本部
山口県岩国地区消防組合消防本部
山口県萩市消防本部
山口県下関市消防局
山口県光地区消防組合消防本部
山口県宇部・山陽・小野田消防局
山口県周南市消防本部
徳島県
徳島県小松島市消防本部
徳島県みよし広域連合消防本部
香川県
香川県三観広域行政組合消防本部
香川県善通寺市消防本部
香川県高松市消防局
香川県丸亀市消防本部
愛媛県
愛媛県松山市消防局
愛媛県伊予消防等事務組合消防本部
愛媛県上島町消防本部
愛媛県四国中央市消防本部
愛媛県東温市消防本部
愛媛県久万高原町消防本部
高知県
高知県香南市消防本部
高知県高知市消防局
福岡県福岡県みやま市消防本部
福岡県久留米広域消防本部
熊本県
熊本県上益城消防組合消防本部
熊本県熊本市消防局
大分県
大分県杵築速見消防組合消防本部
大分県別府市消防本部
大分県竹田市消防本部
大分県中津市消防本部
大分県豊後高田市消防本部
宮崎県
宮崎県宮崎市消防局
宮崎県串間市消防本部
宮崎県西部市消防本部
鹿児島県
鹿児島県さつま町消防本部
鹿児島県いちき串木野市消防本部
鹿児島県指宿南九州消防組合消防本部
鹿児島県阿久根地区消防組合消防本部
鹿児島県姶良市消防本部

全国約240消防本部に納入
500台以上の救急車に搭載されています

検視室内

無人環境 オゾンガス除染 設定CT値1000
脱臭効果検証
浮遊菌の検査結果

報告書

ご提案先

試験場所

某警察署検視室

試験項目

脱臭テスト(ニオイセンサーによるにおいの強弱数値検証)

殺菌テスト(RCSエアサンプラーによる室内浮遊菌数測定)

試験実施日

平成29年●月●日 9:30～

お立ち会い職員様

鑑識課 検視第●係

係長 匿名 警部

匿名 警部補

提案会社

株式会社タムラテコ

代表

田村 耕三

担当

BT-1事業部 肉倉

技術責任者

本社 技術開発部 福田

※本試験は ISO13485 の承認基準に準じ実施されております

平成29年●月●日に行いました検視室内脱臭効果検証及び浮遊菌の検査結果について、下記の通りご報告申し上げます。

- 1: 某警察署検視室
- 2: オゾンガス発生装置
BT-088 CT値測定装置付(株式会社タムラテコ製)
- 3: 採取方法
脱臭テスト 使用機器
ポータブル型ニオイセンサXP-329m(新コスモス電機株式会社製)
浮遊菌 使用機器
RCSエアースンプラー 4分 160L(Biotest-Serum-Institut GmbH 製)
- 4: 採取菌種
室内浮遊菌 一般細菌

部屋の体積約200㎡

遺体用冷蔵庫

ご遺体

菌採取場所

オゾンガス発生器
BT-088

物入れ

検査方法と実施写真

脱臭効果
検証開始

AM9:35

オゾンガス噴霧前の臭いを測定

においの強弱数値 153



オゾンガス
噴霧開始

AM9:49

オゾンガス発生装置BT-088

設定CT値1000

オゾン濃度レベル3 (MAX)



オゾンガス
噴霧停止

PM12:28

CT値300

噴霧時間 2時間33分

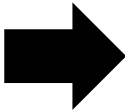
停止時オゾンガス濃度2.15ppm



脱臭効果テスト ニオイセンサーによるにおいの強弱数値検証

PM12:28

オゾンガス噴霧前の臭いを測定
においの強弱数値 153



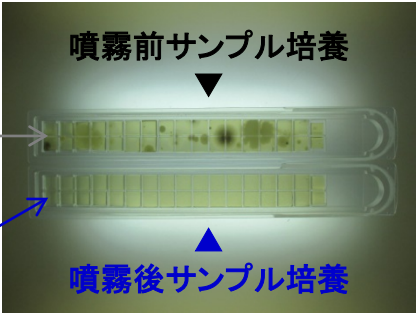
ニオイセンサー数値は0(ほぼ無臭)

浮遊菌の殺菌検証結果

オゾンガス噴霧前と噴霧後
エアサンプラーにて検視室の
空気を160ℓ採取して菌の
コロニー数を計測



採取日	採取箇所	菌 種	コ ロ ニ ー 数	備考
H29 ●/●	検視室	一 般 菌	38個	オゾンガス 噴霧前
		一 般 菌	0個	オゾンガス 噴霧後



試験結果考察

現在日本においては空気清浄度に関する法令基準がありません
弊社ではNASAの定めた規準を準用し、環境管理を行うことが望ましいと考えます。

今回のテストではオゾン除染のCT300での結果となりました。
脱臭効果は、ニオイセンサーの数値150が0になりました。

また人の感覚としては、綾瀬警察署ご担当者様からも今までとは違い
すっきりしていると、効果を認めて頂きました。

菌検査については、左記資料クリーンルームのクラス100のレベルになっております。
ウイルスは菌より弱い為、ウイルスも不活性化しているといえます。

清浄度 クラス	微 生 物						
	NASA規準 (個/ft³)	L換算 (個/L)	RCSIによる測定				
			30秒 (個/20L)	1分 (個/40L)	2分 (個/80L)	4分 (個/160L)	8分 (個/320L)
クラス 100	0.1>	.0035>	0 (0.07)	0 (0.14)	0 (0.28)	0~1> (0.56)	1> (1.12)
クラス 10,000	0.5>	0.0176>	0 (0.352)	1> (0.70)	1~2> (1.40)	3> (2.81)	6> (5.63)
クラス 100,000	2.5>	0.0884>	1~2> (1.768)	3~4> (3.53)	7> (7.07)	14> (14.14)	28> (28.28)

本データシートの一部または全部を当社に無断で、転載または複製する事を禁止します。

検視室内

有人環境 オゾンガス濃度0.1ppm以下
脱臭効果検証
浮遊菌の検査結果

報告書

ご提案先

試験場所

某警察署検視室

試験項目

脱臭テスト(ニオイセンサーによる、においの強弱数値検証)

殺菌テスト(RCSエアサンプラーによる室内浮遊菌数測定)

試験実施日

平成30年2月

お立ち会い職員様

鑑識課 検視第●係 匿名警部補 様

鑑識課 検視第●係 匿名警部補 様

提案会社

株式会社タムラテコ

代表

田村 耕三

担当

BT-1事業部 肉倉

技術責任者

本社 技術開発部 福田

※本試験は ISO13485 の承認基準に準じ実施されております

検視室内

有人環境 オゾンガス濃度0.1ppm以下
脱臭効果検証
浮遊菌の検査結果

報告書

平成30年2月21日から3月2日に行いました有人時オゾン濃度0.1ppm以下の環境での
検視室内脱臭効果検証及び浮遊菌の検査結果について、下記の通りご報告申し上げます。

1: 某警察署検視室

2: 採取方法

脱臭テスト 使用機器

オゾンガス発生器 BT-088

ポータブル型ニオイセンサXP-329m

XP-329ⅢR

(新コスモス電機株式会社製)

浮遊菌 使用機器

RCSエアースンプラー 4分 160L (Biotest-Serum-Institut GmbH 製)

3: 採取菌種

室内浮遊菌 一般細菌

遺体用冷蔵庫

部屋の体積約130m³

ご遺体

遺体用冷蔵庫

オゾンガス発生器
BT-088

菌採取場所

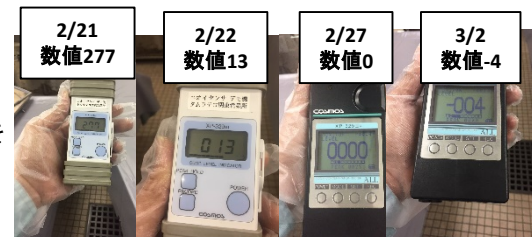
遺体用冷蔵庫

検査方法と実施写真

脱臭効果 検証開始

BT-088設置後、
オゾン濃度0.1ppm以下の
継続噴霧

ニオイセンサーにて
10日間に4回のにおい強弱を
計測



オゾンガス 噴霧機器

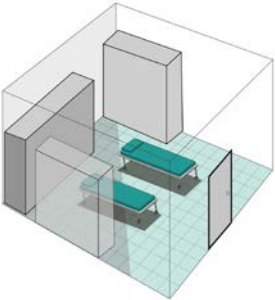
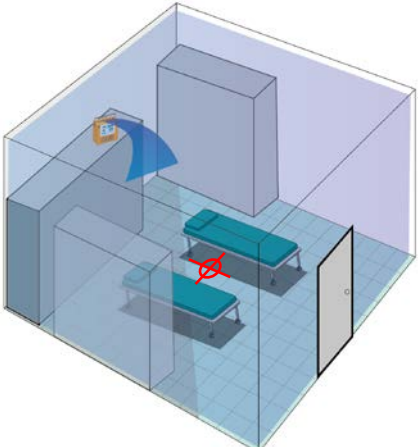
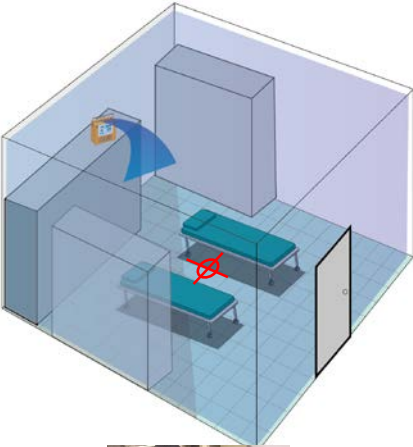
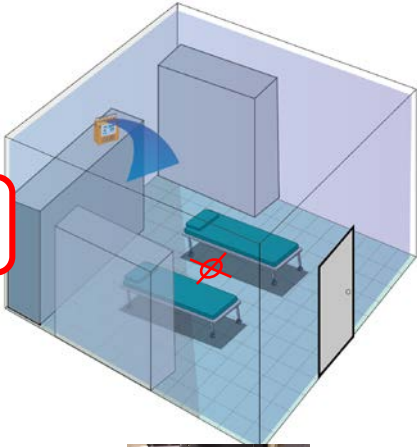
オゾンガス発生装置BT-088

オゾン濃度0.1ppm以下

有人環境下での噴霧を想定



脱臭効果テスト ニオイセンサーによるにおいの強弱数値検証

一日目	二日目	八日目	十日目
  ●/●測定 11:21 オゾンガス 噴霧前 におい測定値 277	 計測時0.01ppm   ●/●測定 10:05 オゾンガス 噴霧 におい測定値 13	 計測時0.09ppm  前夜 処置あり  ●/●測定 10:22 オゾンガス 噴霧 におい測定値 0	 計測時0.09ppm   ●/●測定 10:03 オゾンガス 噴霧 におい測定値 -4

ご担当者様の御意見

某警察署 鑑識係様の実感

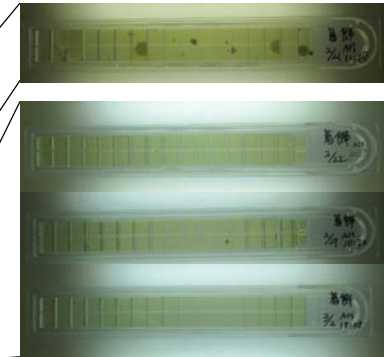
- ・検視室に入った時には臭いは無くなった。
- ・処置中も臭いが軽減されていると思う。殺菌もされていると思うと安心です。
- ・特に夏場には助かります。

浮遊菌の殺菌検証結果

オゾンガス噴霧前と噴霧後
エアサンプラーにて検視室の
空気を160ℓ採取して菌の
コロニー数を計測



採取日	採取箇所	菌 種	コロニー数	備考
H30 ●/●	検視室	一 般 菌	26個	オゾンガス 噴霧前
H30 ●/●		一 般 菌	2個	オゾンガス
H30 ●/●		一 般 菌	2個	0.1ppm以下
H30 ●/●		一 般 菌	0個	噴霧



試験結果考察

現在日本においては空気清浄度に関する法令基準がありません。
弊社ではNASAの定めた規準を準用し、環境管理を行うことが
望ましいと考えます。
今回のテストではオゾン濃度0.1ppm以下での結果となります。

脱臭効果は、においセンサの数値は10日間の噴霧にて処置後、
ご遺体が出ていても0になりました。

殺菌効果は、一般細菌がオゾン噴霧前は26個でしたが、前夜に処置
がある場合でも、0～2個のレベルになりました。

菌検査については、添付の参考資料のクリーンルームの
クラス100～10,000レベルになっております。ウイルスは菌より弱い為、
ウイルスも不活性化しているといえます。

清浄度 クラス	微 生 物						
	NASA規準 (個/ft³)	L換算 (個/L)	RCSIによる測定				
			30秒 (個/20L)	1分 (個/40L)	2分 (個/80L)	4分 (個/160L)	8分 (個/320L)
クラス 100	0.1>	.0035>	0 (0.07)	0 (0.14)	0 (0.28)	0～1> (0.56)	1> (1.12)
クラス 10,000	0.5>	0.0176>	0 (0.352)	1> (0.70)	1～2> (1.40)	3> (2.81)	6> (5.63)
クラス 100,000	2.5>	0.0884>	1～2> (1.768)	3～4> (3.53)	7> (7.07)	14> (14.14)	28> (28.28)

本データシートの一部または全部を当社に無断で、転載または複製する事を禁止します。